



くすやま美紀(樟山みき)活動報告

2017, 9, 28 NO. 209

連絡先 荻窪5-15-19-704 電話・FAX 5932-6170
区議会控室 3312-2111(内)2319

杉並区議会第3回定例会一般質問

国保の都道府県化 区の財政措置継続を

◆ 国保の「都道府県化」「広域化」とは

国保の運営を区市町村単独から、都道府県との共同運営にし、都道府県が財政運営の責任を担う。

新制度スタート後も、保険証の発行、保険料の決定・徴収などは引き続き区市町村が担う。

都道府県は、国保事業に必要な費用を区市町村に割り当てる「納付金」の額の決定、区市町村がこれに合わせて国保料率を決める際の目安となる「標準保険料率」の算定などを行う。

都道府県に強力な権限を持たせることによって、区市町村を締め付け、医療費を削減しようという狙い。日本共産党は中止・撤回を要求。

国民健康保険制度が変更

第3回定例会で、日本共産党杉並区議団は、国民健康保険制度について一般質問を行いました。

来年4月から、国民健康保険制度は「都道府県化」（「広域化」）されます。

制度変更で、最も懸念されているのが、保険料の大幅値上げです。現在、各区市町村では、保険料負担軽減のために、一般会計から国保会計に繰り入れを行っています。国は、制度変更に伴い、「公費の繰り入れをやめること」を、都道府県が司令塔となってすすめるよう、様々な制度や仕組み

みをつくって押しつけてきています。国が言うように、繰り入れをやめれば、今でさえ高い保険料がさらに引きあがることは避けられません。

党区議団は「都に対し、自治体の繰り入れに圧力を加えないよう求めるとともに、区として保険料軽減のために一般財源の繰り入れを継続すべき」と迫りました。

区の答弁は「制度改革の趣旨は、一般会計からの繰り入れを解消していくこと（繰り入れをやめること）であり、最終的には、間もなく公表される都の試算結果を踏まえ検討していく」と曖昧なものでした。

東京の保険料1.3倍に

党区議団の質問後の9月20日、東京都は、都道府県化になった場合の保険料の試算結果を、東京都国保運営協議会に示しました。それによると、区市町村が独自の繰り入れを行わない場合、加入者一人当たりの保険料は、2015年度の年額11万2881円から、14万4391円へと1.3倍にも増える金額となりました。

この試算結果からも、負担増を抑えるために、区市町村の繰り入れが不可欠であることは明らかです。

党区議団は、都道府県化への移行による国保料の引き上げを許さないために、9月29日から始まる区議会決算特別委員会でも全力を尽くします。

「区民アンケート」にも怒りの声続々・・・

安倍首相の臨時国会冒頭解散表明に、国民の怒りと批判が高まっています。

日本共産党杉並区議団が、9月中旬から配布を始めた「区民アンケート」の返信にも、「安倍首相は国会を私有化して国民を馬鹿にしている。許さない」「安倍氏の暴走を貴党に早く止めてほしい。ニューヨークでの演説は最悪です」など、安倍暴走政治に対する怒りの声が多数寄せられています。

憲法とくらしを守る新しい政治を

今回の解散・総選挙の狙いが、どさくさに紛れて、安倍自公政権が、多数の議席を引き続き確保し、憲法改悪の野望に突き進むことにあることは明らかです。

おさない史子日本共産党衆院東京8区予定候補は

「野党と市民の共闘で、

安倍政権を退場させ、憲法とくらしを守る新しい政治をつくりましょう」と連日区内で訴えています。

日本共産党は、安倍政権の暴走政治に正面から対決してきた党として、比例代表選挙で850万票獲得し、躍進することをめざし、全力をあげます。



荻窪駅南口で朝の宣伝

吉田信夫さんをねぎらう会 開かれる

26日、前都議会議員の吉田信夫さんをねぎらう会が開かれました。党員や後援会員、区内団体の方々約170名が参加。タング演奏から始まり、吉田さんの生い立ちから5期20年にわたる議員活動をまとめたスライド上映、参加者から吉田さんへのスピーチなど、多彩なプログラムに会場は大いに盛り上がりました。



2018年度 予算要望書を提出



27日、日本共産党杉並区議団は、来年度の予算編成に対する要望書を区長に提出しました。

区立保育園の民営化や学校統廃合の中止、介護保険料・国保料の引き下げなど、多くの区民や団体から寄せられた切実な要望を踏まえ、重点施策38項目、個別施策669項目をまとめたものです。

区民要望の前進に向けて、29日から始まる決算特別委員会でも頑張ります。